

ID	
氏名	
生年月日	
年齢	性別
科名	病棟

SOX+Trastuzumab療法
2回目以降
3週毎

疾患名 **胃癌**

T N M Stage

主治医

(身長 cm・体重 kg) 体表面積 m²

指導医

スケジュール HBs抗原 (+ -) HBc抗体 (+ -) HCV抗体 (+ -)

《注射》		Day1		Day21
トラスツズマブ	6mg/kg	↓		
オキサリプラチン	100mg/m ²	↓		
《内服》		Day1(夕)	Day15(朝)	《7日間休薬》
エスワンタイホウ (テガフル・ギメラシル・オテラシル)		↓	↓	↔

トラスツズマブ

- ・初回投与時は90分以上かけること。忍容性良好であれば2回目以降30分へ短縮可能。(医師へ確認)
- ・投与前に心エコーを行うこと。治療期間中は定期的に心機能検査を行うこと。
- ・投与予定日より1週間以内の遅れであれば6mg/kgで投与する。
- ・投与予定日より1週間を超えた場合、初回投与量の8mg/kgで投与、次回以降から6mg/kgとする。

オキサリプラチン

- ・末梢神経障害緩和のためホットパックを使用する。
- ・治療期間中は冷感刺激を避ける。(金属類との接触、冷たい食事や飲み物、エアコンの風など)

(レジメン)Day1

抗がん剤投与1時間前にアプレピタントカプセル(125mg)1Cを内服				投与ルート
①	生食250ml	DIV	血管確保(20ml/h)	メイン
②	トラスツズマブ () mg 生食250ml	DIV	初回90分 2回目以降30分	側管
③	アロキシ(0.75mg/5ml) 1V 生食15ml	IV		側管
④	デキサート(1.65mg) 4A 生食20ml	IV		側管
⑤	オキサリプラチン() mg デキサート(1.65mg) 4A 5%ブドウ糖液250ml	DIV	120分	側管
終了後メインの生食でルート内フラッシュ				

Day2,3
 アプレピタントカプセル(80mg) 1c 1×朝
 デカドロン錠(0.5mg) 8T 2×朝・昼

Day1(夕)~15(朝)
 エスワンタイホウ () mg/Day 2×朝・夕

体表面積	1日用量(テガフル相当量)
1.25m ² 未満	80mg/Day
1.25m ² ~1.5m ²	100mg/Day
1.5m ² 以上	120mg/Day